

武雄市議会だより (フェイスブックも) 始めました

栄八通信

http://ei-8.info/

第83号

R3年147(10)月発行



武雄市議会議員
宮本 栄八
TEL・FAX 23-0750
携帯 090-5083-0793

令和3年8月水害の抜本的対策 (私の提案)

平成2年の水害後、もうこんな事は起きないと思っていたのが令和元年に起きて、30年後に備えねばと思っていたら、3年目に起きた。「線状降水帯」が発生すれば、毎年でも起きるとの考えに変わりました。

また、令和元年の水害後の激特事業5年間も、完成しないうちに新たな水害を受け、対策とともにスピード感も必要と感じました。

改めて、被害に遭われた方にお見舞いを申し上げると共に、今回の水害に政治的な人災があったとすれば、行政の一端を担う議員の一人として、反省とお詫びを申し上げます。今後、より具体的な提案をすることで早期の対策に繋がります。

一方、小松市長は今回の水害を受けて、「抜本的治水対策をする」との力強い発言をされていた。

そこで、今議会の一般質問の第一番目に、市長の言われる抜本的治水対策は、何で・どう取り組み、いつを目標にされているのかを尋ねた。返答は、特にこれといったものはなく、出来るものをいろいろ話を聞きながら進めていくとの主旨で、何か大きな抜本的な事業を言われると思っていたので拍子抜けした。

また、今回出されている家屋のかさ上げ補助金や、ため池クリークの事前放流は、元年の水害後私が提案していたもので、その時に否定せずに取り組んでいてもらえていたら良かったのと残念な気持ち。

【私の思う抜本的対策は】

現在の六角川の放水を入れる東川登町の六角川調整池計画は、出来ても20年以上かかるとの見方も多く、早期実現の可能性は低い。そんな中、令和元年水害後、「六角川整備計画」(平成24年から30年間)が変更され、新たに、「六角川分水路等の保水力を上げる整備」が追加された。

この分水路は以前通信でも紹介したが、今回も浸水した、大町の順天堂病院の東の六角川がΩ型に蛇行しているところを、直線化し、水の排出を早くするもので、令和元年の国の激特事業の予算が配分され、5年以内に整備される予定。

一方、事業名に分水路等と「等」がついているのは、将来的にΩ型の内側が直線化で分断されるので、そこを遊水地として整備が考えられないかの意図があるとの見方も多い。確かに30年に一回の水害と思われた計画に令和元年水害後の追加なのでこんな表現と思う。

しかし、3年目で大水害が現実になった今、この分水路等を「大渡遊水地整備」と明確に計画に記載し、事業化してもらおうのが一番の抜本的治水対策と確信します。

また、白石町長さんが六角川に入らずに有明海に排水する、「白石導水路」も提案されている。これも有効と思われる。遊水池もこれも場所所は白石町内なので、三市三町で作る六角川整備期成会で進めて欲しいが、受益の多い武雄市が人員や計画づくりや調整に当たらないと早期実現はならない。

内水対策への提案

1 武雄町小楠対策 (北部の水の直接放流)

主な冠水場所は、消防署付近で、パイパス利用者も影響を受ける。原因は、物産館裏で武雄川に合流する、富岡下水路の水がはげずに溢れることが原因と思われる。

この富岡都市下水路の状況は、幅5m深さ6m程度あり、コンクリート3面張り川並みの大容量。元々の市役所横から松原↓昭和↓天神↓小楠と武雄町南部の排水の柱。今議会、合流点の武雄川にスムーズに流れる様に、武雄川を管理する県に河川の幅幅やポンプの設置を要望してはと質問した。

答弁としては、流域全体で考えていくとの具体的ない回答だった。

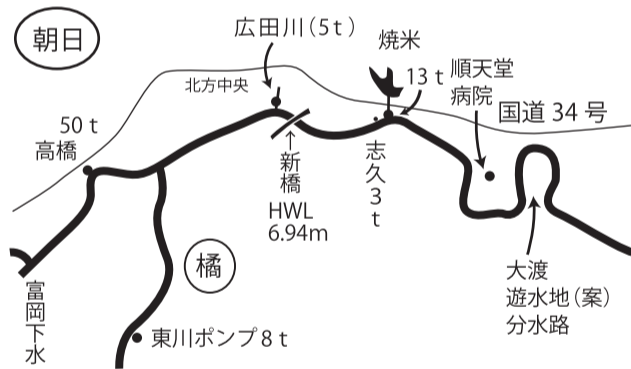
【北部の水の直接放流(案)】
そこで、次なる方策として提案したのが、この富岡下水路は、下山や竹下町方面からの水と、北部市街地の水が市役所横で合流し、富岡下水路の起点になっていて、令和元年の水害で現市役所が浸水したので、竹下方面からの水を仕切り、直接武雄川に流すように改良し、富岡下水路の水は減少している。そこでさらに北部からの水も直接放流する提案もした。これは改修費用も少なく市の判断で出来ると思う。

2 朝日町・橋町 (新橋の40cm掘削)

朝日町も橋町も、大雨で排水先の六角川の水位が高くなれば、逆流を防ぐために水門を閉めて、ポンプで住宅地に降った内水を排水して水害を防ぐ。下流域も同様。今回、特に被害を大きくしたのは、唯一頼みとするポンプが「運転調整」いわゆるポンプ停止で8月14日夜中3時から昼の14時まで3回、約8時間あったことである。それに加え、重大だと思ったのは、ポンプ停止中に、橋町の東川(塩田町からくる)排水機場が内水をかぶり水没し、故障したこと。それを、市が6億円もかけ整備した戸別受信機や防災アプリで市民に何故か?情報が出されてないこと。国交省武雄河川事務所ホームページには六角川など24時間監視カメラの画像を見ることが出来る。私も水没情報は市からの連絡がなく、その画像に白いホースのようなものが見えて後で尋ねて知った。そこで、ポンプ停止を防ぐためには、どうすれば良いかを調べてみると、ポンプ停止の取り決めがあり、①堤防などが崩壊の危険②新橋水位観測所の基準水位を超えた時。が主なもの。

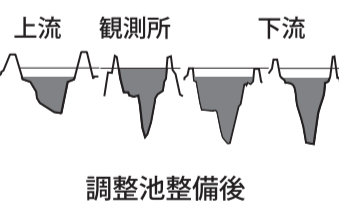


新橋付近掘削を



②が適用されていて、今回一斉に停止した。そこで、新橋の基準水位がどう決まっているかを調べる。と、約7m(6.94)だった。

また、国交省のデータをネットで見ると聞き、調べると今回新橋の最大水位は7.35mで、わずか40cmのオーバーで8時間も停止し、多くの被害が出たことになる。そこで、今議会新橋観測所付近の堆積土を取って40cm水位を下げるように国に要望してはと提案。市の答えは、掘削すると堤防が大雨の時崩壊する。と否定的。



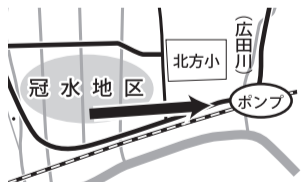
分水路の内側は遊水地公園の適地

7.24mで、その時に対策を打つていれば、今回も少し軽減できたのではと思う。

3 北方中央付近 (広田川への導水路を)

前回の通信で提案したが、北方中央交差点付近の5本の水路は、大雨で水門を閉めると、行き先が無くプールのようなことになる。それが上流の国道34号より北の小川川を溢れさせ、広範囲に浸水する。

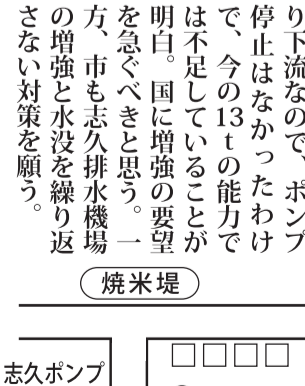
一元水害の激特事業で、東側の広田川にポンプを令和5年に整備するが、致命的な問題は、冠水地とポンプ場の間の北方小付付近は、小山のような高段になっているし、東西に特に河川もないので、ポンプ場が出来ても本来の目的である北方中央の水が排出されず、現状の改善が見込めない。そこで今議会、横断水路整備を提案。池田議員からも同様の質問があり、市の答弁として「県と相談する」との答えだが、急いでポンプ稼働と同時に合わせないと意味がない。



4 北方焼米付近 (ポンプ増強を)

焼米の国道沿いには、かみやさんなど飲食店が並び、今回も前回と同様の水害だったと聞く。ここについては、国道北側の焼米堤の保水と、南側の市の志久排水機場3tと国の焼米排水機場13tに頼っている。

焼米堤は、上流の永谷堤と親子堤で水利権は白石町の土地改良区で管理。今回、大雨前は干ばつだったが、水位は下げていたとの話。一方今回の大雨で、市の志久排水機場は、前回と同様水没し、停止してしまっただけで、ポンプ停止はなかったわけでは不足していることが明白。国に増強の要望を急ぐべきと思う。一方、市も志久排水機場の増強と水没を繰り返さない対策を願う。



新体育館建設に市民の声を 駐車場100台でいいの？

新体育館の建設にあたり、大規模な敷地が必要として、新球場を子ども達には不便な山林に移転までして確保した白岩球場跡地だが、今度示された新体育館の配置図を見てびっくりした。

① 駐車場が100台と少ないこと
② 3塁側のスタンド土手を約1m高で残すために敷地が分断する。
③ 体育館前にわざわざ土の広場をつくる必要があるのか？
④ 県道からの入り口に対し建物がわざわざ斜めを向く不向き。すでに基本計画は出されていて、面積や内容については、パブリックコメントも取られていた。

た、一般的には、基本計画の柱である配置図はそこで一番に示されるが、今回は配置図を後でいきなり出して、また説明会やパブリックコメントも実施されない。そこで今議会、一般質問がないと意見を言う場がないと心配したが、どうにか会派代表であった。

そこで、新体育館の配置計画をスポーツ・利用関係者に意見を聞いてみるべきとの質問をした。市の答えはそのまま行くと回答。



新野球場の指定管理料 1747万円は高すぎる

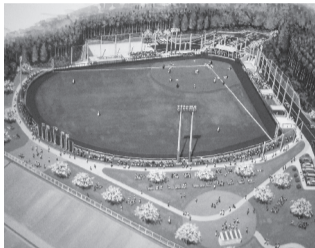
どう考えても納得できないのが新野球場の利用料金で、嬉野市みゆき野球場はプロ野球もできる設備で、一時間あたり、大人800円で高校生以下が400円。

今回、武雄市の新野球場の料金は、4180円で議員の反発も多かったため、市民に対しては別途割引料金を設けるとのことだった。

今回改めて割引料金がいくらか尋ねると、市内在住者は半額の2090円で、児童生徒はその半額の1045円と判った。

それでも嬉野市の2倍以上。もともと、この料金は今度頼む、指定管理料1745万円を賄うために逆算したとの話だった。

今回改めて聞くと、収入は関係なく、管理費用を払うとのこと。それなら、野球場だけの例では嬉野の轟野球場の管理費は年間450万円で、3倍以上の管理料になり計算の根拠が疑問。



武雄温泉駅 南口広場整備 レイアウト変更を

武雄温泉駅南口整備については、前の計画図が2年前まであって、今は楠の木を西側を街のリビングとして広場にすレイアウトが突然出されて進んでいる。

これまで私としては、観光バススペースが多すぎることや、南は駐輪場が計画されていないこと、温泉の名がつく駅で足湯などの温泉情緒の施設がないことへの課題を言ってきた。市は最初は否定的だったが、バスの件と駐輪場は提案が通ったが、足湯の件は否定的。

今回、992万円で南口整備をコンセプトから考えるとのことなので、そうならば、イベント重視からユニバーサルデザインへの転換へ。九州新幹線の左出口の例である新大牟田や筑後船小屋駅のように、出来るだけ入り口近くまで送迎でき、さらに近くに障がい者の

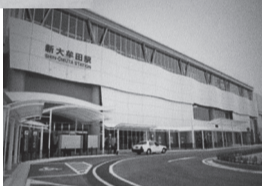
駐車スペースが屋根付きで確保されている。今の武雄温泉駅レイアウトは、出入り口近くに街のリビングとする公園が計画されていて、中央の楠の木より東側に下車し、西に行つて、入り口を入りまた東に歩いて、エレベーターに乗る形で、わざわざ行ったり来たりが必要で、弱者に配慮が足りない形になっている。それに伴い、駅前派出所も一歩東に移転し、案内を受けるにはさらに歩かなければならない。

こう考えると、左出口の方に障がい者駐車スペースを含めた交通広場を配置し、東側に街のリビング公園にして、普段利用されない観光バススペースに公園利用客の駐車場にすればイベントなども行いやすいと思う。そこで、東西のレイアウトの入れ替えを提案するも、市は否定的。



九州新幹線駅
左出口の例

新大牟田駅



筑後船小屋駅

新幹線開業への 課題【期待】

来年の新幹線開業は、長崎まで新幹線が開通する他にも、いくつかのチャンスが生まれる。まずはリレー方式採用のおかげで全列車が武雄温泉駅で停車することだが、これは武雄市の努力無しで実現する。

今回期待するのは、長崎と佐世保の分岐が、肥前山口駅から武雄温泉駅に移るので、今、肥前山口駅が分岐点を持つ特典を武雄市も受けられる可能性がある。

- ① 快速電車 朝に2本肥前山口駅発の快速電車がある。これを武雄温泉駅発にできるのでは？
- ② 終電停車 博多からの終電は肥前山口どまりなので、それを武雄に。
- ③ 割引切符 以前は、博多⇄武雄温泉間の2枚切符があった。今は、博多⇄肥前山口と博多⇄佐世保の2種類で、今回博多⇄武雄間の切符で観光客下車の促進を。

物産まつり委託料 正式決定が先では

今回の予算で「えつ」と驚いたのが、物産まつりコロナ対策費として579万円が出されていた。

内容は、物産まつりでの検温や人数管理を民間会社に業務委託するの460万円、サーモカメラ購入費に118万円の内訳。

ただ、物産まつりの開催に関する情報を全く聞いていなかったし、武雄町で言えば秋祭りの子どもみこしや年末の公民館祭りも中止の連絡が最近あったばかり。

そこで、開催をいつ決定したかを聞くと、7月の会議では開催する方向だったとの答弁。状況は日々変化しているので、早く次の実行委員会の会議を開いてもらいたい。

もし中止の場合キャンセル料金が発生し、無駄使いにならないように段取り良く決定して欲しい。

朝日小屋根改修と 今後の学校整備

今議会、朝日小学校の屋根改修に2327万円の予算が付き、来年の雨前前の5月の完工を目指す。これまで、雨漏りの対策をしたが止まらず、今回本格的に行う。

私は、屋根を張り替えると思っでいて、それなら天井の電球もLEDにして明るくしてはと提案した。しかし工法は、今の屋根の継ぎ目、約50cm間隔にカバールをかぶせるとのこと。天井は扱わなといった話でがっかり。

その理由は、今のアセット計画では、今まで行われた学校の大規模改修計画は全く無く、耐震はOKだが、照明やトイレなど機能はあっても傷んだ施設も多い。この朝日小の工事をきっかけに朝日小や山内東小など「小規模改修計画」策定が必要と認識して欲しい。

ふるさと納税百条委員会

武雄市のふるさと納税の返礼品が、令和3年度さがびより15kが、1万2285件。②佐賀産和牛1.2kgが、1万4041件。③県産和牛を含む和牛1.6kg1734件で、1万円の寄付なので、件数に1万円を掛けた総額は2億860万円が発送遅延を起した。

問題になった時は、発送遅れだったので、私は返礼品業者が自腹を切っても納入させるべきだと言っていた。ただ、市は業者が発送の見込みが立たないと言っているとして諦めて、市が返礼品の委託業者との契約を解除する一方、後の対応を職員がしている。

だから今は、発送遅延ではなく返礼品の不履行業者、見方ではサギ業者問題となっている。

業者委託した市の責任で、不足分を市が補填すれば済むのだがそうすると、ふるさと納税のルール違反になりペナルティ

で2、3年ふるさと納税が停止され、他の市内業者に迷惑がかかるとして、市が補填せずに返礼品の内容を落とすものがある。いは、返金の選択を寄付者に選択してもらっている。ただ返金も昨年度の税の修正申告の手間や、税控除もなくなるなど寄付者は返金でも不利益な状況で実質損害は残る。

一方、議会の全員協議会で原因である業者の状況や、商品調達の問題点や返礼品業者の大半商会の選定、またその業者への令和3年度保証金の免除なども疑問があり、自治法100条に基づく委員会を設置し関係者への聞き取りや記録提出など調査を目的に設置された。

また設置には議決が必要で、議長を除く18人のうち、賛成15人(提案者11名) 反対3人で可決した。

賛成者	反対者
1. 杉原	松尾初
2. 江原	上田
3. 坂口	末藤
4. 川原	
5. 猪村	
6. 石橋	
7. 江口	
8. 牟田	
9. 古川	
10. 吉原	
11. 宮本	
松尾よ	
豊村	
池田	
吉川	

順不同敬称略